

# JET からの手紙

## 人と人とのつながり ～文化大使として～

山口県防府市教育委員会

Cameron Peagler (キャメロン・ピグラー)

### 防府市の ALT として

2018年の日本政府のデータによると、日本の人口の約2.2%が外国人です。さらに、地方はそれよりも低い割合となっています。驚いたことに、私は山口県防府市に外国語指導助手（ALT）として着任しました。二重国籍のアメリカ人である私は、このような田舎の環境では自分の行動がより際立つだろうと思っていました。ALTとして活動を行うにあたって、JETプログラムの理念である「外国語教育の向上と地域レベルでの国際交流を促進することにより、日本の地域社会の国際化を促進する」ということは、私にとって特別な意味を持つこととなり、英語の指導だけでなく、文化大使としての役割を果たそうと思いました。

### 教室から地域のコミュニティへ

人に教えるという行動は優れた国際交流につながるものだと思います。私は学校で、楽しい学習環境の構築、授業計画の作成、作品の採点、スピーチの分析、その他必要な活動の支援などを行っています。これらの活動により、生徒や他の教師と深くつながることができます。それだけではなく、私は教室の外で、文化大使として地域社会とつながる機会を探しました。そして、フェンシング選手としてのスキルを活かして、地元のフェンシングクラブを手伝っています。

フェンシングはもちろんですが、クラブの外でも時間を過ごすようになり、スポーツを通して新しい仲間が増えました。一緒に新しい技術を学んだり、ラーメンを食べたりして、みんなで一緒に過ごす時間はとても有意義です。それだけでなく、人と人とのつながりについても学ぶことができました。

また、私はこの文化交流を通じて、それぞれの個性に感謝することの重要性を学びました。そうすることで、恐怖や固定観念の壁を取り払いながら、団結力と受容力が生まれてくるのだと思います。残念なことに、コロナウイルスの流行が始まり、現在、フェンシングは一時中断していますが、私とフェンシングで出会った人々は、お互いが尊重し合うことで、良きライバルとして日々成長しています。



フェンシングの練習風景

### 大切な人々のために

“大丈夫？” コロナウイルスの流行に関して、親族から何度もこの質問を受けましたが、幸いなことに私は無事でした。留学時代の日本のホストファミリーはマスクやその他の必



学校に配布したマスク

需品を送ってくれました。私は健康でしたが、私が住んでいるコミュニティはマスクもまばらで、ウイルスの蔓延につながりかねない状況でした。私のアメリカの看護師の資格は使えませんでした。私は地域を守るために率先して取り組みました。まず、私と友人は「C and C's Masks f Compassion」という慈善団体を作り、手作りのマスクをいくつかの学校に寄付しました。

しかし、資金の問題もあり、私たちはほんの数人の生徒たちしか助けることができなかつたので、市内の全ての中学校と小学校に、洗えるマスクとコロナウイルスに関する教材を提供するために、資金を寄付してくれる団体を探しました。幸いなことに、「Project ひろ」と呼ばれるこの新しいプロジェクトを実施するための助成金をアメリカ国務省から得ることができました。このプロジェクトに取り組む中で、私は人間の本质に気づき、人間関係のあるべき姿を見据えることができました。



Project ひろのロゴマーク



教育長に子供たちへのマスクを贈呈

## 絆の花はどこにでも咲く

コロナウイルスは、人種、年齢、豊かさや出身国に関係なく感染する可能性があり、人間はこれらの特性に焦

点を合わせる傾向があります。一般的に、他人との違いがわかるほど、他人との関係を築くことが難しくなります。しかし、興味深いパラドックスがここにあることを知りました。人類の根本は同じであり、みんなお腹がすき、眠りが必要で、愛が欲しい、そして幸せが欲しいと思っています。では、なぜ違う背景を持った他人とつながることは難しいのでしょうか？

私は、これらの違いにのみ焦点を当てていることが原因だと思えます。誰かの個性を無視すべきだという意味ではありません。私とフェンシングの友人とは、個性により強い絆が築かれています。私が提案しているのは、相手を全体的に認識して関係を築くことです。そうすれば、個性は違っていても、人としてつながっていることに誰もが気づくことができるのではないのでしょうか。



フェンシングを教えている柳井高校の生徒たちとの記念撮影

## プロフィール



### Cameron Peagler

オハイオ州デイトン出身で2013年にギルマン奨学生として日本に留学。その後、アメリカで外科看護師として5年間勤務。アメリカの全国的なフェンシング選手(2018年~2019年)。母や祖父からの愛情、日本でのホストファミリーの親切さ、家族以外の人からの助けを借りて、世界に恩返しをしたいと思っており、国際平和の架け橋を築く外交官になることを目指している。